

会山行報告（第12回山スキー）

02・03・10（第2日目・無風快晴のち曇）

報告者・後藤隆徳

飯綱山（1917m）

## 飯綱・霊仙寺の二枚のバーンを滑る欲張りツアー

時間 起床5:00—最終リフト発8:50—飯綱山10:45~12:30—霊仙寺山  
13:05—帰着14:05—静岡21:00

標高差 後藤・上り=467m+150m+150m

下り=967m+150m+150m

加藤、小岱・上り=467m+150m

下り=967m+150m

横山・上り=467m、下り=967m

### 今日の一言

後藤隆徳（55）=こんなイイ山知らなかった。また、来ようぜ。

加藤秀子（53）=前後が離れ一人旅。でも山は受け入れてくれた。

小岱正男（54）=あんな厳しいスキーでの上りは初めてかも。良い思い出となりました。

横山多輝子（36）=恐かったけれど何とか連れて行って貰い有難う御座いました。

今朝も暖かい朝を迎えた。駐車場で昨夜24時に来た小岱、横山と合流。小岱が毛無山で知り合った横山とは初めての山行。今後が大いに期待出来る若い方だ。今日はリフトで上る。3本乗りついてゲレンデ最上部に立った。標高は約1500m。昨日の黒姫山に比べると、はるかに楽だ。天気は快晴無風高温。

今日はどうしようと、コースが頭の中でグルグル回る。今回はスキーアルピニズム研究会の記録を参考にしてきたが、下から眺めた印象では、霊仙寺山経由で飯綱山東尾根滑降は面白くなさそう。霊仙寺東面のバーンが滑れないからだ。

ここで、霊仙寺山の一枚バーンを滑らない手はないので、リフト終点から滝ノ沢を渡り直に飯綱山に上り、飯綱山の一枚バーンを滑った後、霊仙寺山を滑りゲレンデに下るの、超欲張りプランを決意。

霊仙寺山のブナが生える急激な山腹を横断して、滝ノ沢に向かう。シールを着け、歩きモードでの急下降。そして腐れ雪は歩き難いこと甚だしい。加藤、横山は横になったり、縦になったり、かなりもてあそばれた感じ。（写真・右上）

沢からガジガジのバーンに新雪が30cm乗った、超急登に行く。しっかりスキーに乗りクトーを利かせないと転落の危険がある。小岱、横山が遅れる。横山は二度目の山スキーで「こんなところを上るの～」と歎びで、顔はフニャフニャだった？ここはブナが素晴らしかった。林は次第にダケカンバに変わって行く。

トップでグングン上る。今回は夜行でないので、体調は充分だ。私も55歳を数え、夜行が厳しくなった。以前、「都職山の会」の頓所さんも「せめて、夜行山行をしなくて良い文化生活を確立したい」とあったが、正にその通りだ。小岱等が遅れるのも、実力でなく、夜行の疲れがあるからだ。それでも来る。静岡から夜行でここまで来る、その「パッション」(情熱)には、脱帽である。霊仙寺山が次第に上がってきた。

1700mで上部の一枚バーンに達した。黒姫山より低いこの山に、どうして無木立がと不思議である。(写真・前ページ中) シュカブラがあるところを見ると、案外、風が強い山かもしれない。

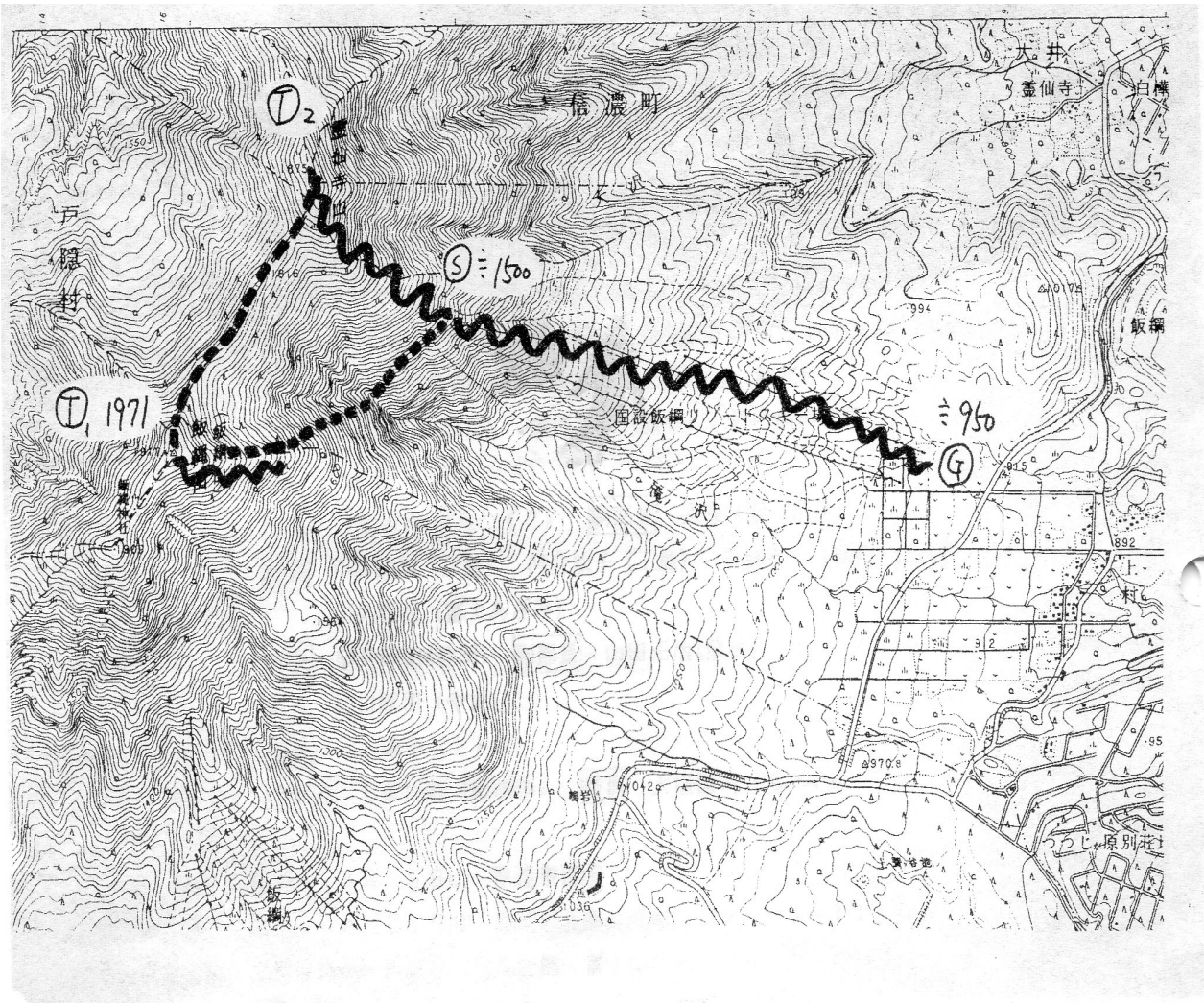
誰もいない頂上に立った。昨日同様無風快晴、360度の素晴らしい展望。時間が勿体無いので滑降に移る。すぐ下で加藤に合流。

南面はもう「ザラメ」で快適そのもの。それにしても、ここの急斜面は何て気持ち良いことか。1700mまで5~6分だった。小岱、横山はまだ見えない。15分待つて来た。「もう滑ったの〜」横山が驚いていた。

全員頂上に揃った。(写真・前ページ下) 他の登山者も多くなった。黒姫山に比べると人氣が窺えた。戸隠方面からは標高差が少なく上り易い。地元のテレマーカー、スノーシュー、カメラを三台持った写真好きのオジサン、などなど。実々にぎやか。疲れた横山を置いて、三人で滑る。小岱は相変わらず華麗な滑りだ。先程、私が滑った1700mまで滑り、小岱の「これで満足！」の声。

霊仙寺山に向かう。上り下りで歩き難い。やはり、ここを往復しなくて良かった。最後の踏ん張りです。霊仙寺山に立つ。(写真・下) ここは更に素晴らしい高度感だった。俄かに雲が広がり、北アルプスがガスって来た。







滑る東面を覗くと、ゲレンデ下まで標高差千mあるが、真下に見える感じだ。ここはボーデ向きだ。ショージに滑って貰いたかったナー。私为先頭で突っ込む。雪はボーダーが滑りやや荒れているが、質は悪く無かった。ただ、ルートが全体的に右曲がりなので、やや滑り難い。本当は一直線に行きたい所だが。

樹林帯直前のバーンは真っ更でサイコー。横山は本人曰く、「余りの急下降で、腰が引けて」でやや苦戦。しかし、すぐ慣れるだろう。

この下は、カンパの林が広がり、右に左に巧みに滑る。これが案外面白い。バーンを滑るのとは、また、一味違う。この辺は加藤が最も得意にする所だった。この「味」はゲレンデでは絶対味わえない。

後はゴブゴブのゲレンデをこなし、出発点に戻った。後は昨日同様、牟礼村の「天狗の湯」に浸かった。500円でなかなか良い温泉で、露天風呂から飯綱山の二枚のバーンが良く見えた。(写真・右が霊仙寺山、左が飯綱山)

こうして滑った所を眺めるのは気分が良い。ただ、ここで食べたヒレカツ定食は最悪で、「ひでえーカツ定食」だった。絶対、食わないことを進言します。

## 今回の反省・感想

1. 横山さんは大きく育って欲しい。
2. 少なくとも、携帯電話は持参したい。
3. 夏山登山で基礎体力を養おう。